

基本目標 Ⅲ あらゆる分野における男女共同参画の推進
 施策の方針 5 政策・方針の決定過程における男女共同参画の推進
 取り組みの方向 (1) 審議会等における女性の登用推進

【数値目標が設定されている場合の達成度】
 (※数値目標がない場合は、その達成度とした理由が備考欄に記入されています)
 5(十分に達成できた): 目標値の100%以上
 4(概ね達成できた): 目標値の80%以上100%未満
 3(達成まで今一步): 目標値の60%以上80%未満
 2(達成は不十分): 目標値の60%未満

058	事業名	審議会等への女性の登用推進	課所 事業費	人権・男女共同参画推進課 0円
男女共同参画の視点からの事業目的		手 段		
市の審議会等における女性の登用を推進する。		<ul style="list-style-type: none"> 行政推進会議及び幹事会で全庁的に働きかけを行う。 審議会委員の改選時期に合わせて、女性の登用について各課に対して個別に働きかけを行う。(事前協議) 		
事業の実施内容と成果				
【実施内容】 全庁的な男女共同参画推進体制である行政推進会議(部長級で構成)及び幹事会(課長級で構成)で働きかけを行ったほか、審議会等の改選時期に合わせて所管課所の担当者と事前協議を行い、女性の登用について配慮を依頼した。				
【活動実績(活動指標)】 働きかけの回数		【取り組みの成果(成果指標)】 女性の登用率		
<目標> 一回 <実績> 30 回		<目標> 35 % <実績> 32.8 %		
達成度 5 (十分に達成できた)		達成度 4 (概ね達成できた)		
行政推進会議(1回)、幹事会(1回)、事前協議(28回) また、行政管理課と合同で、審議会等の情報をまとめた「審議会等ガイドブック」を作成し、地区センター等への設置やホームページへの掲載を行った。		令和2年4月1日現在 審議会等・・・行政委員会、法令等審議会、要綱等協議会(H29.4より追加)		
事業の評価				
C (より積極的な取り組みが必要)		全庁的な男女共同参画推進体制である行政推進会議(部長級で構成)及び幹事会(課長級で構成)で働きかけを行ったほか、審議会等の改選時期に合わせて所管課所の担当者と事前協議を行い、女性の登用について配慮を依頼した。		
<H30実績> C				
認識した課題		課題解決に向けた対応		
女性の専門家が少ない分野や、あて職の委員が多い審議会等の場合、委員の選任に所管課の裁量が及びにくい状況がある。		女性の登用の余地がある審議会等については、事前協議において引き続き所管課に積極的な働きかけを行う。		

059	事業名	男女共同参画チャレンジリスト登録者への情報提供	課所 事業費	人権・男女共同参画推進課 0円
男女共同参画の視点からの事業目的		手 段		
市民(チャレンジリスト登録者)に、審議会委員の公募に関する情報提供を行い、審議会等における女性の登用を推進する。		審議会への女性の参画を支援するための講座受講者等のうち、希望者にチャレンジリストに登録してもらい、公募委員を募集する各審議会の情報を提供する。		
事業の実施内容と成果				
【実施内容】 チャレンジリスト登録者に対して、年度当初に、その年度内に公募委員を募集する審議会の情報提供を行った。また、登録者への公募委員募集情報の個別送付を希望する審議会の所管課所に対して、同意をもらった登録者の情報提供を行った。				
【活動実績(活動指標)】 チャレンジリスト登録者数		【取り組みの成果(成果指標)】 登録者のうち年度内に公募委員になった人数		
<目標> 87 人 <実績> 80 人		<目標> 13 人 <実績> 12 人		
達成度 4 (概ね達成できた)		達成度 4 (概ね達成できた)		
内訳: 女性61人、男性19人(令和2年4月1日現在)		登録者のうち公募委員の人数(令和2年4月1日現在)		
事業の評価				
B (概ね順調に取り組んでいる)		公募委員募集のために依頼のあった課には、チャレンジリストの提供を適宜行った。		
<H30実績> A				
認識した課題		課題解決に向けた対応		
現在登録方法が、男女共同参画支援センターで開催する、審議会への女性の参画を支援するための講座参加者への呼びかけのみとなっている。		講座に参加しなくても登録ができるように、広報を行う。		

基本目標 III あらゆる分野における男女共同参画の推進
 施策の方針 5 政策・方針の決定過程における男女共同参画の推進
 取り組みの方向 (1) 審議会等における女性の登用推進

【数値目標が設定されている場合の達成度】
 (※数値目標がない場合は、その達成度とした理由が備考欄に記入されています)
 5(十分に達成できた): 目標値の100%以上
 4(概ね達成できた): 目標値の80%以上100%未満
 3(達成まで今一步): 目標値の60%以上80%未満
 2(達成は不十分): 目標値の60%未満

060	事業名	審議会等における女性の登用推進のための講座の開催	課所 事業費	男女共同参画支援センター 40,000円
男女共同参画の視点からの事業目的		手 段		
主として女性に、審議会等への参画についての意識を高め、審議会等における女性の登用を推進する。		審議会等への女性の参画を支援するための講座を、人権・男女共同参画推進課と連携して開催する。		
事業の実施内容と成果				
【実施内容】 広く市民に女性の政治参画の重要性を伝え、女性受講者の審議会に対する理解度を深めることを目的とする2回連続講座「あなたの声が暮らしを変える」を実施した。①7/13「人と一緒にいること=政治?」、②7/25「審議会を知らう」。講座終了者のうち、希望者が実際に審議会を傍聴した。③8/8「審議会へ行こう」				
【活動実績(活動指標)】		【取り組みの成果(成果指標)】		
参加率		満足度		
<目標> 80 % <実績> 85 %		<目標> 80 % <実績> 83 %		
達成度 5 (十分に達成できた)		達成度 5 (十分に達成できた)		
参加人数:49人(女性:35人、男性:14人) 募集人数:50人(第1回30人、第2回20人) 審議会傍聴参加人数:3人		「まったく知らなかった政治の話で、面白いシステムなどを知ることができて、興味がわきました」「市政に提言したいことや疑問に思うことがあったら、審議会委員になるのがいいことがわかった」などの感想があった。		
事業の評価				
A (順調に取り組んでいる)		受講した女性参加者に、身近な行動が政治への参画につながることを意識づけるとともに、審議会に対する理解を深めることができた。		
<H30実績> A				
認識した課題		課題解決に向けた対応		
特になし。		今後とも適切に事業を実施する。		

基本目標 III あらゆる分野における男女共同参画の推進
 施策の方針 5 政策・方針の決定過程における男女共同参画の推進
 取り組みの方向 (2)女性人材の育成

【数値目標が設定されている場合の達成度】
 (※数値目標がない場合は、その達成度とした理由が備考欄に記入されています)
 5(十分に達成できた):目標値の100%以上
 4(概ね達成できた):目標値の80%以上100%未満
 3(達成まで今一步):目標値の60%以上80%未満
 2(達成は不十分):目標値の60%未満

061	事業名	女性職員の人材育成・登用促進	課所 事業費	人事課 108,000円
男女共同参画の視点からの事業目的		手 段		
政策決定過程における男女共同参画を推進するため、行政内部においても、女性人材の能力開発、登用を促進する。		女性職員を対象としたエンパワーメント研修等を実施する。		
事業の実施内容と成果				
【実施内容】 女性の能力開発・発揮を目的とした「女性職員エンパワーメント研修(女性の強み・弱み、ワークライフバランス等)」を実施した。(8/20実施)				
【活動実績(活動指標)】 女性の能力開発のための研修の受講者数		【取り組みの成果(成果指標)】 主幹職以上に占める女性の割合		
<目標> 25 人 <実績> 33 人 達成度 5 (十分に達成できた)		<目標> 34 % <実績> 29.9 % 達成度 4 (概ね達成できた)		
目標値(25人の受講枠)を設け、女性人材の能力開発に努めた。		行政職及び医療職の職員のうち、主幹級以上の職員に占める女性の割合(令和2年4月1日現在)		
事業の評価				
A (順調に取り組んでいる)		目標値を設け、女性人材の能力開発、主幹級以上の女性の割合の拡大に努めた。		
<H30実績> A				
認識した課題		課題解決に向けた対応		
特になし。		今後も適切に事業を実施する。		

基本目標 III あらゆる分野における男女共同参画の推進

施策の方針 6 就労における男女共同参画の推進

取り組みの方向 (1)女性の就業機会の拡大推進

【数値目標が設定されている場合の達成度】
 (※数値目標がない場合は、その達成度とした理由が備考欄に記入されています)

5(十分に達成できた):目標値の100%以上
 4(概ね達成できた):目標値の80%以上100%未満
 3(達成まで今一步):目標値の60%以上80%未満
 2(達成は不十分):目標値の60%未満

062	事業名	育児休業取得中の女性を支援する講座の開催	課所 事業費	男女共同参画支援センター 136,750円
男女共同参画の視点からの事業目的		手 段		
育児休業を取得した女性が就業継続し、スキルアップに繋がる支援をする。		育児休業取得中の女性が仕事に復帰していくため、具体的に役立つ知識やスキルを習得できる講座を開催する。		
事業の実施内容と成果				
【実施内容】 NPO法人子育てサポーター・チャオと協働で、3回連続講座「育児休業取得中の女性のための職場復帰準備講座」を、6月と9月の2回実施した。①6/2と9/1「パートナーとともに考える！仕事と育児 両立のヒント」、②6/9と9/8「パートナーとともに聞く 先輩ママの体験談」、③6/12と9/11「市内の保育所情報を知ろう」				
【活動実績(活動指標)】		【取り組みの成果(成果指標)】		
参加率		満足度		
<目標> 80 % <実績> 65 %		<目標> 80 % <実績> 99 %		
達成度 4 (概ね達成できた)		達成度 5 (十分に達成できた)		
参加人数:女性62人(6月26人、9月36人) 募集人数:6月48人(16人×3回)、9月48人(16人×3回)		「職場に戻ったら大変だろうなとマイナスな気持ちが強かったですが、効率よくやることや、プラスに思えることがたくさん開けたのでよかったです」「先輩ママの生の声、しかも今年から復帰の人たちだったので、とてもためになりました。来年の未来像が見えました」などの感想があった。		
事業の評価				
A (順調に取り組んでいる)		講義やワーク、先輩ママの体験談を通じて、職場復帰や就業継続への不安を軽減させることができた。また、復職前にパートナーと家事に対する考え方や役割分担について話し合う「場」やお互いの考えを共有する機会を提供することができた。		
<H30実績> A				
認識した課題		課題解決に向けた対応		
特になし。		今後とも適切に事業を実施する。		

063	事業名	女性の再就職に関する講座の開催	課所 事業費	男女共同参画支援センター 0円
男女共同参画の視点からの事業目的		手 段		
再就職を希望する女性の就職を支援する。		再就職を希望する女性の就職を支援するための講座やワークショップ等を開催する。		
事業の実施内容と成果				
【実施内容】 女性就業支援全国展開事業(一般財団法人女性労働協会)の協力で、再就職を希望する女性を対象に12/5「自分の役立ち力」を伝える極意」講座を実施した。				
【活動実績(活動指標)】		【取り組みの成果(成果指標)】		
参加率		満足度		
<目標> 80 % <実績> 100 %		<目標> 80 % <実績> 96 %		
達成度 5 (十分に達成できた)		達成度 5 (十分に達成できた)		
参加人数:23人(女性23人) 募集人数:20人		「話し方、受け答えなど基本的なことに加えて、自分が就職したあとのイメージをどれだけ伝えられるのかを考えることができた」「就職活動に活かせる。大変参考になった」などの感想があった。		
事業の評価				
A (順調に取り組んでいる)		再就職を希望する女性に対し、面接に必要な知識や心構えを事前に習得することで苦手意識を軽減することができた。また、グループワークを通じて、受講者同士が悩みや再就職に関する情報交換の場をつくることができた。		
<H30実績> A				
認識した課題		課題解決に向けた対応		
特になし。		今後とも適切に事業を実施する。		

基本目標 III あらゆる分野における男女共同参画の推進

施策の方針 6 就労における男女共同参画の推進

取り組みの方向 (1) 女性の就業機会の拡大推進

【数値目標が設定されている場合の達成度】
 (※数値目標がない場合は、その達成度とした理由が備考欄に記入されています)

5(十分に達成できた): 目標値の100%以上
 4(概ね達成できた): 目標値の80%以上100%未満
 3(達成まで今一步): 目標値の60%以上80%未満
 2(達成は不十分): 目標値の60%未満

064	事業名	女性のための就職支援セミナー	課所 事業費	産業支援課 360,000円
男女共同参画の視点からの事業目的		手 段		
女性の就職を支援する。		女性の就職を支援するためのセミナー(講座)を開催する。		
事業の実施内容と成果				
【実施内容】【女性のための就職支援セミナー(市主催)】①4/11(参加者9人)、②6/13(参加者11人)、③8/8(参加者17人)、④10/10(参加者10人)、⑤12/12(参加者19人)、⑥2/13(参加者10人)【女性のためのビジネスマナー講座(市主催)】①5/9(参加者7人)、②7/11(参加者11人)、③9/12(参加者9人)、④11/14(参加者14人)、⑤1/9(参加者15人)、⑥3/12(新型コロナウイルス感染防止対策のため開催中止)				
【活動実績(活動指標)】		【取り組みの成果(成果指標)】		
参加率		満足度		
<目標> 75 % <実績> 60 %		<目標> 90 % <実績> 99 %		
達成度 4 (概ね達成できた)		達成度 5 (十分に達成できた)		
参加人数:132人 募集人数:220人(20人×11回)		「満足」:131人 「わからない」:1人		
事業の評価				
A (順調に取り組んでいる)		2つの事業とも、グループワークを主とした内容となり、参加者の意欲も高く、活発的な取り組み姿勢が見られた。また、アンケート結果からも高評価を得ることができた。		
<H30実績> A				
認識した課題		課題解決に向けた対応		
景気の動向や雇用情勢の影響を受けるため、セミナー参加者の増減に影響する。他に開催している事業との均衡を考えながら事業を開催する。		参加者を広く募るため、周知を続ける。		

065	事業名	女性の就業支援事業	課所 事業費	産業支援課 3,334,092円
男女共同参画の視点からの事業目的		手 段		
女性の就職支援の一環として専門のキャリアコンサルタントを配置し、就職に向けたきめ細かな総合的カウンセリングを実施し、早期就職の促進を図る。		委託事業としてキャリアコンサルタントを配置し、個別にカウンセリングを実施する。		
事業の実施内容と成果				
【実施内容】 専門のキャリアコンサルタントによる早期就職に向けた総合的カウンセリングを実施(月曜～金曜、午前9時～午後5時、受付は午後4時30分まで。)				
【活動実績(活動指標)】		【取り組みの成果(成果指標)】		
相談件数(延べ)		相談終了者の就職率		
<目標> 145 件 <実績> 96 件		<目標> 40.0 % <実績> 37.8 %		
達成度 3 (達成まで今一步)		達成度 4 (概ね達成できた)		
令和元年度は就職支援セミナーの参加者数が増加し、セミナー参加者が相談するケースが増加した。		女性相談終了者37人、内訳(就職14人、未就職23人) 相談終了者には自己都合による終了や関係機関を案内した者も含まれている。		
事業の評価				
C (より積極的な取り組みが必要)		セミナー参加者が相談するケースが増加しており、相談件数相談者の就職率については、相談から就職まで速やかな相談が実施できている。		
<H30実績> C				
認識した課題		課題解決に向けた対応		
今後も相談者・相談件数の更なる増加を目指す。また、相談者の就職率については、相談者からの就職報告がないケースもある。		市主催の就職支援セミナー等において広報、周知をより強化していく。また、相談者の状況把握体制を検討する必要がある。		

基本目標 III あらゆる分野における男女共同参画の推進

施策の方針 6 就労における男女共同参画の推進

取り組みの方向 (1) 女性の就業機会の拡大推進

【数値目標が設定されている場合の達成度】
 (※数値目標がない場合は、その達成度とした理由が備考欄に記入されています)

- 5(十分に達成できた): 目標値の100%以上
- 4(概ね達成できた): 目標値の80%以上100%未満
- 3(達成まで今一步): 目標値の60%以上80%未満
- 2(達成は不十分): 目標値の60%未満

066	事業名	母子家庭等の就労支援	課所 事業費	子育て支援課 17,459,200 円
男女共同参画の視点からの事業目的		手 段		
母子及び父子家庭の母親及び父親の就労を支援する。		母子及び父子家庭の母親及び父親の就労に結びつくような情報の提供に努めるとともに、就労に有効な資格の取得を支援するため、母子自立支援員の面接を通し、教育訓練給付金などの支給を行う。		
事業の実施内容と成果				
【実施内容】 就労に結び付きやすい知識・技能を身につけるため、雇用保険法で定める教育訓練講座を受講し、修了した場合に受講費用の一部を支給した。(母子家庭等自立支援教育訓練給付金)また、修業期間中の生活費の一部を支給した。(高等職業訓練促進給付金)				
【活動実績(活動指標)】		【取り組みの成果(成果指標)】		
支給件数		達成度 5 (十分に達成できた)		
<目標> 1 件 <実績> 21 件 達成度 5 (十分に達成できた)		<目標> 達成度 5 (十分に達成できた) 給付金を支給することで、就労を支援することが出来た。		
母子家庭等自立支援教育訓練給付金6件、高等職業訓練促進給付金15件を支給した。				
事業の評価				
A (順調に取り組んでいる)				
<H30実績> A 認識した課題 課題解決に向けた対応				
特になし。		今後も適切に対応する。		

基本目標 III あらゆる分野における男女共同参画の推進

施策の方針 6 就労における男女共同参画の推進

取り組みの方向 (2) 起業・自営業などへの支援

【数値目標が設定されている場合の達成度】
 (※数値目標がない場合は、その達成度とした理由が備考欄に記入されています)

5 (十分に達成できた): 目標値の100%以上
 4 (概ね達成できた): 目標値の80%以上100%未満
 3 (達成まで今一步): 目標値の60%以上80%未満
 2 (達成は不十分): 目標値の60%未満

067	事業名	女性の起業支援に関する講座の開催	課所 事業費	男女共同参画支援センター 66,000円
男女共同参画の視点からの事業目的		手 段		
女性が主体的に能力を発揮できる力(エンパワーメント)をつけるための学習機会を提供し、起業を視野に入れた女性の能力向上を図る。		女性が企業で働くだけでなく、起業する、NPOを立ち上げるなど、多様な働き方の選択ができるようなワークショップを中心とした講座を開催する。		
事業の実施内容と成果				
【実施内容】 産業支援課、越谷商工会議所との共催で、女性の起業を支援する4回連続講座「私が好きなことで仕事を創る」を実施した。①10/2「お客さまは誰か考えよう」、②10/16「あなたならではの仕事を創る」、③10/30「市はどんな支援してくれる?」、④11/6「マネープランを学ぶ」。加えて、起業を疑似体験で学ぶ11/14交流会(準備)と、11/24実践編「ミニマルシェの開催」を実施した。				
【活動実績(活動指標)】		【取り組みの成果(成果指標)】		
参加率		満足度		
<目標> 80 % <実績> 100 %		<目標> 80 % <実績> 96 %		
達成度 5 (十分に達成できた)		達成度 5 (十分に達成できた)		
参加人数84人(女性84人) 募集人数:80人(20人×4回) 出店者交流会 参加人数:7人 ミニマルシェ参加人数:22人		「具体的なターゲットとそのニーズに関して詳細に考えるきっかけになった」「自分の考えを具体的に言葉にすることで方向性が定まってよかった。」「実際に起業してビジネスにしている方の話が聞けてよかった。」「ブラッシュアップを目指す仲間ができて嬉しい」などの感想があった。		
事業の評価				
A (順調に取り組んでいる)		講座開始時は、起業を目的に参加した方だけでなく、起業に対する興味で参加した方も多かったが、起業のノウハウを学ぶ連続講座で経済的な自立も踏まえたワークを重ねることにより、多くの参加者が起業を視野に入れた自分の将来像を描くことができた。		
<H30実績> A				
認識した課題		課題解決に向けた対応		
特になし。		今後とも適切に事業を実施する。		

068	事業名	女性起業家の育成支援	課所 事業費	産業支援課 -
男女共同参画の視点からの事業目的		手 段		
女性の起業を促進し、新たな産業や雇用の創出及び市内産業の振興を図る。		女性の起業希望者や起業間もない方を対象に創業相談及び創業支援セミナーを実施する。また、創業に係る初期費用及び事業を営むための貸室に係る家賃の補助を行う。		
事業の実施内容と成果				
【実施内容】 ①二番館(相談窓口)の専門家による創業相談(女性相談者38人)、②女性起業支援セミナー(9月4,18日:22人)、③起業家支援補助金に係る女性・若者の優遇(女性補助対象者5人)、④市内イベントへの創業前のトライアル出店(女性起業希望者2人)、⑤その他の創業に係るセミナー(女性参加者計44人)				
【活動実績(活動指標)】		【取り組みの成果(成果指標)】		
女性の創業相談件数		女性の起業を支援した数		
<目標> 52 件 <実績> 111 件		<目標> 15 件 <実績> 20 件		
達成度 5 (十分に達成できた)		達成度 5 (十分に達成できた)		
上記各事業(①②③④⑤)の連携をより意識し、周知・宣伝の強化に努めた結果、目標を達成することができた。		二番館相談者12人、創業支援セミナー参加者2人、補助金利用者5人、二番館創業支援室入居者1人の延べ20人の女性が創業した。全創業者延べ45人のうち、女性の割合は4割以上であった。令和元年度より、創業者の集計方法を見直し、創業者の把握に努めた。		
事業の評価				
A (順調に取り組んでいる)		相談窓口に加え、セミナーや補助金などの創業支援施策を通じて前年度よりも多くの女性創業者を創出していることから順調に取り組んでいる。また、各創業支援施策の連携を図り、創業前後にわたり継続的かつ効果的に支援することが、創業者数の増加に寄与しているものと考えられる。		
<H30実績> C				
認識した課題		課題解決に向けた対応		
創業相談やセミナー等の利用者を増やし、創業希望者の掘り起こしを強化する必要がある。また、創業希望者が創業を実現するための支援に加え、創業後に持続的な事業活動ができるよう、フォローアップ支援の強化が必要である。		引き続き、関係機関と連携することにより、創業支援施策等の情報共有や周知強化を図る。また、支援対象者の実態把握に努めるなど、継続的な支援を行う。		

基本目標 III あらゆる分野における男女共同参画の推進
 施策の方針 6 就労における男女共同参画の推進
 取り組みの方向 (2) 起業・自営業などへの支援

【数値目標が設定されている場合の達成度】
 (※数値目標がない場合は、その達成度とした理由が備考欄に記入されています)
 5(十分に達成できた):目標値の100%以上
 4(概ね達成できた):目標値の80%以上100%未満
 3(達成まで今一步):目標値の60%以上80%未満
 2(達成は不十分):目標値の60%未満

069	事業名	家族経営協定の推進	課所 事業費	農業振興課 0円
男女共同参画の視点からの事業目的		手 段		
市内で農業を営む世帯における女性従事者の労働環境の向上を図る。		農業を営む家族間の話し合いのもとで共同経営環境の取り決めをする「家族経営協定」の普及拡大のため、農家への戸別訪問による啓発パンフレットの配布や制度説明、農業団体へのPRなどを行う。		
事業の実施内容と成果				
【実施内容】 各農業団体の会議等において、家族経営協定の制度を説明し、PRを行った。				
【活動実績(活動指標)】 農業団体へのPR活動		【取り組みの成果(成果指標)】 協定の締結件数(累計)		
<目標> 6 回 <実績> 6 回		<目標> 40 件 <実績> 33 件		
達成度 5 (十分に達成できた)		達成度 4 (概ね達成できた)		
越谷市農業団体連合会の各分会、JA越谷市女性部等の会議においてPRを行った。				
事業の評価				
A (順調に取り組んでいる)				
<H30実績> A				
認識した課題		課題解決に向けた対応		
家族経営協定の締結に向け、制度説明やPRを推進しているところであるが、積極的に取り組む農業者が少ない。		制度の概要に加え、労働環境の向上を目的とした家族経営協定の意義やメリットについて、農業者に対し積極的に周知、PRする。		

070	事業名	女性の農業従事者支援	課所 事業費	農業振興課 460,000円
男女共同参画の視点からの事業目的		手 段		
市内の農業に携わる女性組織の活動を支援し、農業における女性の地位向上や経営参画推進を図る。		越谷市農業担い手育成総合支援協議会を通して、JA越谷市女性部に補助金を交付することで、農業経営に関する講座の開催、先進事例の研究、地域交流などを支援する。		
事業の実施内容と成果				
【実施内容】 JA越谷市女性部を通じて、地場農産物を利用した料理講習会や、市民まつり、産業フェスタ等での加工品販売、視察研修等を実施した。また、農業経営への女性参画や女性農業起業家の育成に取り組んだ。				
【活動実績(活動指標)】 事業の開催回数		【取り組みの成果(成果指標)】		
<目標> 75 回 <実績> 65 回		<目標> <実績>		
達成度 4 (概ね達成できた)		達成度 4 (概ね達成できた)		
女性農業起業家としての自立を目標に、農産物の地産池消推進や、地場農産物を利用した加工品の販売を行った。				
事業の評価				
B (概ね順調に取り組んでいる)				
<H30実績> B				
認識した課題		課題解決に向けた対応		
女性農業起業家としての自立や経営の安定化が十分に図れていない。		地場農産物を利用した加工品のPRや女性農業者間の交流・情報交換等を推進することで、女性農業者の、女性ならではの発想やネットワークを活かした活動を促進し、起業家としての自立や経営の安定化を図っていく。		

基本目標 III あらゆる分野における男女共同参画の推進
 施策の方針 6 就労における男女共同参画の推進
 取り組みの方向 (3) 職場環境の整備

【数値目標が設定されている場合の達成度】
 (※数値目標がない場合は、その達成度とした理由が備考欄に記入されています)
 5(十分に達成できた):目標値の100%以上
 4(概ね達成できた):目標値の80%以上100%未満
 3(達成まで今一步):目標値の60%以上80%未満
 2(達成は不十分):目標値の60%未満

071	事業名	ワーク・ライフ・バランスの普及・啓発	課所 事業費	人権・男女共同参画推進課 49,140円
男女共同参画の視点からの事業目的		手 段		
市内の事業者へ、仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)について普及・啓発を行う。		ワーク・ライフ・バランスに関係する取り組みを行っている市内の事業者へインタビューし、その効果などをまとめたリーフレットを市内事業者へ配付する。		
事業の実施内容と成果				
【実施内容】 ワーク・ライフ・バランスの推進に積極的に取り組んでいる市内事業者(有限会社三鈴モンクール、保育園)へのインタビュー記事を掲載したリーフレットを作成し、市内の企業経営者を中心に配付した。(配布部数:約2,500部)				
【活動実績(活動指標)】		【取り組みの成果(成果指標)】		
リーフレットの配付				
<目標> 1 回 <実績> 1 回		<目標> <実績>		
達成度 5 (十分に達成できた)		達成度 4 (概ね達成できた)		
越谷法人会に依頼し所属している市内企業(約2,300社)にリーフレットを配付し、企業経営者に周知を行った。このほか、産業支援課窓口及び「ほっと越谷」にも配架した。		法人会会報への同封により、人事労務担当や企業経営者の元に直接リーフレットが渡るようにしたことで、通常の配架よりも効果的な啓発を行うことができた。		
事業の評価				
A (順調に取り組んでいる)				
<H30実績> A				
認識した課題		課題解決に向けた対応		
啓発の効果を高めるため、企業への直接的な啓発を継続する必要がある。		今後とも、市内企業に対するワーク・ライフ・バランスの直接的な啓発手法を模索していく。		

072	事業名	事業者を対象とした男女共同参画に関する事業の実施	課所 事業費	男女共同参画支援センター 30,000円
男女共同参画の視点からの事業目的		手 段		
事業者へ男女共同参画意識の普及・啓発を図り、職場における男女共同参画を推進する。		事業者を対象として、ワーク・ライフ・バランスなどに関する講座等を開催する。		
事業の実施内容と成果				
【実施内容】 事業者や働き方の見直しに関心のある市民を対象に、ワーク・ライフ・バランスの実現に向け、事業規模にかかわらず実践可能な、社内の両立支援制度や環境整備のヒントを学ぶ講座を実施した。9/28「事業者のための介護と仕事の両立セミナー 大成建設事例 社員の不安を安心に変える“両立”支援策」				
【活動実績(活動指標)】		【取り組みの成果(成果指標)】		
実施事業数				
<目標> 1 回 <実績> 1 回		<目標> <実績>		
達成度 5 (十分に達成できた)		達成度 5 (十分に達成できた)		
参加人数:13人(女性5人、男性8人) 募集人数:30人		「人事制度は時代の変化に応じて変わることを実感しました。具体的な事例が多く、参加者の満足度も高いと思います。参考になりました」「具体的でわかりやすく、すぐに取り入れられる内容ばかりでした」などの感想があった。		
事業の評価				
A (順調に取り組んでいる)				
<H30実績> A				
認識した課題		課題解決に向けた対応		
特になし。		今後とも適切に事業を実施する。		

基本目標 III あらゆる分野における男女共同参画の推進
 施策の方針 6 就労における男女共同参画の推進
 取り組みの方向 (3) 職場環境の整備

【数値目標が設定されている場合の達成度】
 (※数値目標がない場合は、その達成度とした理由が備考欄に記入されています)
 5(十分に達成できた): 目標値の100%以上
 4(概ね達成できた): 目標値の80%以上100%未満
 3(達成まで今一步): 目標値の60%以上80%未満
 2(達成は不十分): 目標値の60%未満

073	事業名	就労に関する法制度等の普及・啓発	課所 事業費	男女共同参画支援センター 0円
男女共同参画の視点からの事業目的		手 段		
市民に就労に関する法制度の普及・啓発を図り、職場における男女共同参画を推進する。		配偶者控除、育児・介護休業法、パートタイム労働法など、就労に関する法制度について講座を開催する。		
事業の実施内容と成果				
【実施内容】 埼玉労働局と共催で、11/21「これだけは知っておきたいパートタイム労働法」を実施した。				
【活動実績(活動指標)】		【取り組みの成果(成果指標)】		
参加率		満足度		
<目標> 80 % <実績> 100 %		<目標> 80 % <実績> 100 %		
達成度 5 (十分に達成できた)		達成度 5 (十分に達成できた)		
参加人数:33人(女性30人、男性3人) 募集人数:30人		「求人票で仕事内容、就業時間、休日等や職務経歴書があることなど、大変勉強になりました」「パートタイムで働く際の労働条件通知書について詳しく知ることができました。」などの感想があった。		
事業の評価				
A (順調に取り組んでいる)		参加者のうち事前にパートタイム労働法を知っている人は1人(3%)だったが、講座終了後のアンケート結果では、全員が「理解できた」、「どちらかといえば理解できた」と回答し、パートタイム労働法についての理解を深めることができた。		
<H30実績> A				
認識した課題		課題解決に向けた対応		
特になし。		今後とも適切に事業を実施する。		

074	事業名	職員に対するハラスメント対策の充実	課所 事業費	安全衛生管理課 -
男女共同参画の視点からの事業目的		手 段		
ハラスメントのない、男女がともに能力を発揮できる職場環境を形成するため、職員に対する意識啓発を図る。		ハラスメントに関する研修等を実施する。		
事業の実施内容と成果				
【実施内容】 新採用職員研修、中級研修(入庁6年目)、上級研修(入庁12年目)、監督職員(主査級・主幹級)及び特別研修において、ハラスメントに関する研修を実施した。				
【活動実績(活動指標)】		【取り組みの成果(成果指標)】		
ハラスメントに関する研修受講者数		ハラスメント発生件数		
<目標> 1 人 <実績> 380 人		<目標> 0 件 <実績> 0 件		
達成度 5 (十分に達成できた)		達成度 5 (十分に達成できた)		
内訳:新採用(女性65人、男性64人)、中級(女性42人、男性31人)、上級(女性15人、男性22人)、主査級(女性32人、男性22人)、主幹級(女性26人、男性33人)、特別(女性2人、男性26人)				
事業の評価				
A (順調に取り組んでいる)		研修を実施してきたことにより、ハラスメントに対する問題意識が深まるとともに、相談窓口の認知度も高まった。これは事業の成果の一面と言えるが、目標は、ハラスメントのない職場環境である。		
<H30実績> A				
認識した課題		課題解決に向けた対応		
ハラスメントに関する正しい認識の一層の定着が必要であるとする。		研修の継続・反復実施及び相談窓口の周知・利用促進に努める。		